

**平成28年度 第2回京都市民健康づくり推進会議  
たばこ対策推進部会及び飲酒に関する行動指針推進部会 摘録**

1 日時 平成29年3月28日(火) 午後1時30分～2時30分

2 場所 本能寺会館西館5階「醍醐」

3 次第

(1) 開会挨拶 京都市保健福祉局保健衛生推進室長 松田 一成

(2) 議事

① 公共施設等の受動喫煙防止対策実態調査結果について

② たばこ対策及び飲酒対策に係る平成28年度取組状況及び29年度取組予定について(京都市)

事務局 (小西担当課長) こころの健康増進センター(湯浅氏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料3, 4の説明</li> <li>● 資料4(別紙)の説明</li> </ul>
京都禁煙推進研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1月の調査について、293施設は回答のあった施設か、もしくは対象施設であり、回答率が100%なのか。</li> </ul>
事務局 (小西担当課長) 京都禁煙推進研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 6施設が無回答であった。</li> <li>○ 来年度の全面禁煙100%の実施に向けて、対策が遅れているのはどのような施設か? また、区役所等の状況はどうか。</li> </ul>
事務局 (小西担当課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 細かな分析については、今後実施していくが、対策が遅れている施設は、利用者が限定されるような施設であった。そのような施設については、引き続き関係機関に協力依頼を行いたいと考えている。 議会棟等については、建物内禁煙となっている。区役所についても、基本的には建物内禁煙になっているが、一部複合施設については喫煙室が設けられている。</li> </ul>

③ たばこ対策及び飲酒対策に係る平成28年度取組状況及び29年度取組予定について(構成団体)

地域女性連合会 議長(高橋部会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家族も昔は喫煙していたが、高齢化しているため、自発的に喫煙しなくなってきたようだ。</li> <li>○ 女性は外出した際に受動喫煙に気づきやすい立場のため、子ども達を</li> </ul>
----------------------	--

<p>労働局労働基準部</p>	<p>守り育てる立場からも、今後も御活動いただけるとありがたい。</p> <p>○ 受動喫煙防止対策助成金の活用等により、事業場における取組の更なる促進を図っている。</p> <p>平成28年度は4件交付決定し、約400万円助成した。</p> <p>助成金について、問い合わせは多かったが、条件を聞くと喫煙室の設置が進まない。また、健康増進法の改正について具体的内容が未確定であることから、喫煙室の設置に踏み切れていない現状がある。</p>
<p>京都府医師会</p>	<p>○ 平成28年4月にニコチン依存症の管理料の改定があり、35歳以下への支援を進めているが、受診者数が少ないため、今後も普及していきたい。</p> <p>○ 例年「くらしと健康展」を実施している。以前はたばこの害について啓発を行っていたが、近年は非喫煙者の来場が多いため、「受動喫煙防止」についてテーマを設定している。</p> <p>○ 飲酒に関しては、以下2点を問題視している。</p> <p>① 若い女性がジュースを飲む感覚で飲酒することが多くなっている。</p> <p>② 定年後にすることがなくなり、飲酒をして一日を過ごす方が増えている。</p>
<p>京都府歯科医師会</p>	<p>○ 歯の広場等のイベントで喫煙や受動喫煙のリスクの紹介を行っている。また、診察時に禁煙を勧めている。</p>
<p>京都府薬剤師会</p>	<p>○ 禁煙支援薬局300施設を目標に、年2回講習会を開催している。</p> <p>ホームページには、禁煙支援を積極的に実施できる薬局の名前を行政区毎に掲載している。</p> <p>○ 学校薬剤師会では、喫煙や飲酒についてゲートウエイドラッグとして薬物乱用につながることを防ぐため、小学校でも積極的に講習会を開催している。</p>
<p>京都禁煙推進研究会 市民委員（駒井氏）</p>	<p>○ 当日資料参照</p> <p>○ 各区に保健センター所属で健康づくりサポーターという組織がある。伏見区には禁煙に特化したグループがあり、活動している。</p>
<p>歯科衛生士会</p>	<p>○ 歯科医師会と一緒にイベント等で指導を実施している。</p> <p>○ 小学校歯みがき指導として、小学校低学年、高学年に歯みがき指導を実施している。高学年にはたばこの害について勉強をした歯科衛生士が両親の喫煙状況の問診を行いながら指導等を行っている。</p> <p>中学校でも、たばこの害を含めた指導を行っている。</p> <p>今後は、飲酒を含めた指導を行っていきたいと考えている。</p>
<p>京都産業保健総合支援センター</p>	<p>○ 企業の産業医や産業看護職、衛生管理者、人事労務担当者に研修やセミナー、相談対応を実施している。</p> <p>その他の具体的な取組については当日資料参照。</p> <p>○ 平成28年6月に「職場における効果的な禁煙推進のポイント」につ</p>

	<p>いて研修会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 平成28年8月には、「なぜたばこを辞められないのか。たばこ依存症の本質を知る」というテーマで、動機付け面接からの効果的な禁煙アプローチ法という研修会を実施した。</li><li>○ 平成29年度についても、喫煙問題にテーマを絞った研修会を2回程度開催予定。</li></ul>
--	--

(3) 閉会挨拶 京都市保健福祉局保健衛生推進室 保健担当部長 吉山 真紀子